

ふくおかの経済

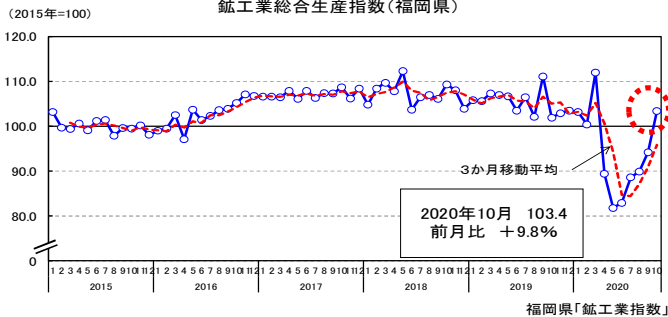
令和2年12月



生産

持ち直している。

10月の生産指数は、汎用・生産用機械工業などの上昇により5か月連続で前月を上回っています。

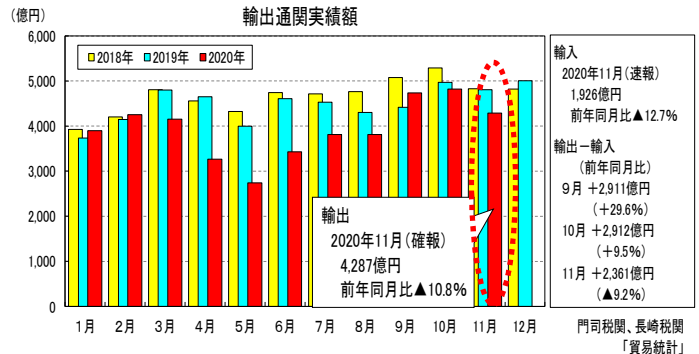


鉱工業生産指数は、2015年の生産水準を100として、その変化を表しています。

貿易

輸出は、持ち直している。
輸入は、おおむね横ばいとなっている。

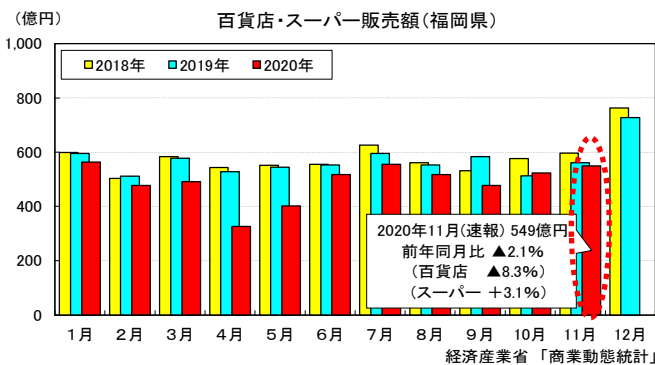
11月の輸出は、前年同月比▲10.8%と2か月連続で前年を下回りました。



消費

一部に弱さがみられるものの、持ち直している。

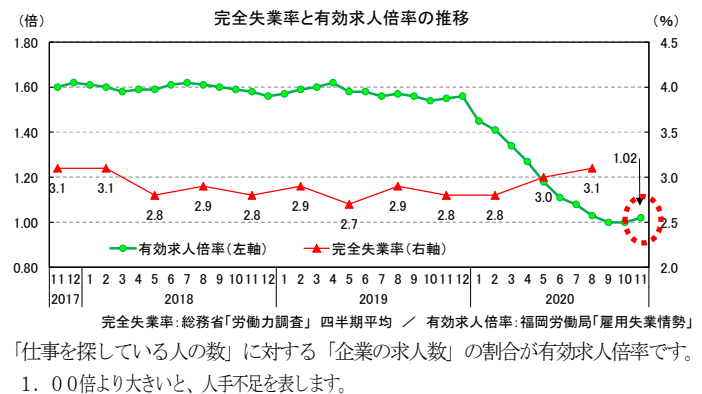
11月の百貨店・スーパー販売額は、新型コロナウイルス感染症の影響などから、2か月ぶりに前年を下回りました。



雇用

求人に改善の動きがみられるものの、引き続き、求職が増加している。

11月の有効求人倍率は1.02倍で、前月を0.02ポイント上回りました。



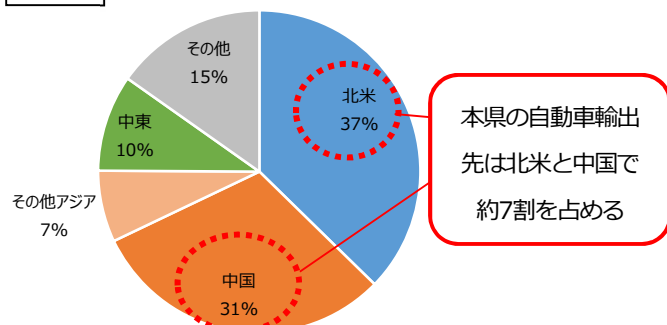
今月のトピック 本県の自動車の輸出動向

○本県には、トヨタ自動車九州や日産自動車九州、日産車体九州など、多くの自動車関連工場が集積しており、自動車産業は本県の基幹産業の一つとなっています。

○そこで、本県の港から輸出されている自動車の国・地域別の割合をみると、北米と中国で全体の約7割を占めており、この2地域の動向が大きな影響を与えていることがわかります。

○また、輸出台数の推移をみると、春から夏頃にかけては、新型コロナウイルス感染症の影響に伴う世界経済の減速により落ち込んでいましたが、その後中国経済がいち早く持ち直したことに加え、北米においても秋頃から需要が回復したことにより、足元の輸出台数は前年並みに回復しています。しかし、現在北米では、新型コロナウイルス感染症が再拡大しており、今後自動車輸出への影響を一層注視していく必要がありそうです。

図表1 国・地域別自動車輸出台数割合(苅田,博多港計,2019年平均)



図表1,2出所: 門司税関「貿易統計」

図表2 自動車輸出台数 推移(苅田,博多港計)

